

BEST AVAILABLE COPY**PATENT ABSTRACTS OF JAPAN**

(11)Publication number : 07-306817
 (43)Date of publication of application : 21.11.1995

(51)Int.Cl. G06F 13/00
 H04M 11/00

(21)Application number : 05-287965 (71)Applicant : INTERNATL BUSINESS MACH CORP <IBM>
 (22)Date of filing : 17.11.1993 (72)Inventor : WILLIAMS MARVIN L

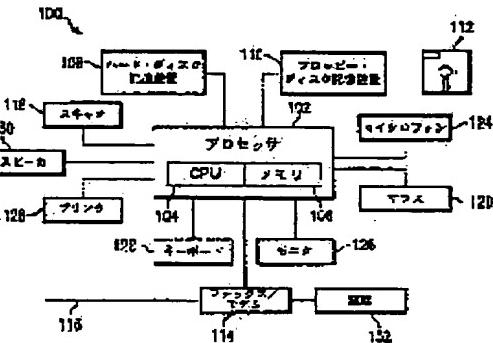
(30)Priority

Priority number : 92 998198 Priority date : 30.12.1992 Priority country : US

(54) METHOD FOR AUTOMATICALLY EXECUTING APPLICATION AND SYSTEM FOR PROCESSING DATA**(57)Abstract:**

PURPOSE: To provide a data processing system in which an application can be automatically activated by inputting a number to a telephone line.

CONSTITUTION: The input of a number to a telephone line 116 is captured, and whether or not an application or a data file is made correspond to the pertinent number is judged. According to the result of the correspondence of the application or the data file to the inputted number, the application corresponding to the inputted number is activated, and the application or the data file is provided to a user. Preferably, a registered number and the data base of the application corresponding to the registered number are held in a data processing system 100. Also, when telephone calling is successively connected with the registered number, a telephone speech recording application is selectively activated, and telephone communication is recorded.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination] 17.11.1993

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2552080

[Date of registration] 22.08.1996

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

22.08.1999

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-306817

(43) 公開日 平成7年(1995)11月21日

(51) Int.Cl.
G 0 6 F 13/00
H 0 4 M 11/00

識別記号 354 Z 7368-5B
序内整理番号 302

F I

技術表示箇所

審査請求 有 請求項の数10 OL (全7頁)

(21) 出願番号 特願平5-287965
(22) 出願日 平成5年(1993)11月17日
(31) 優先権主張番号 998198
(32) 優先日 1992年12月30日
(33) 優先権主張国 米国(US)

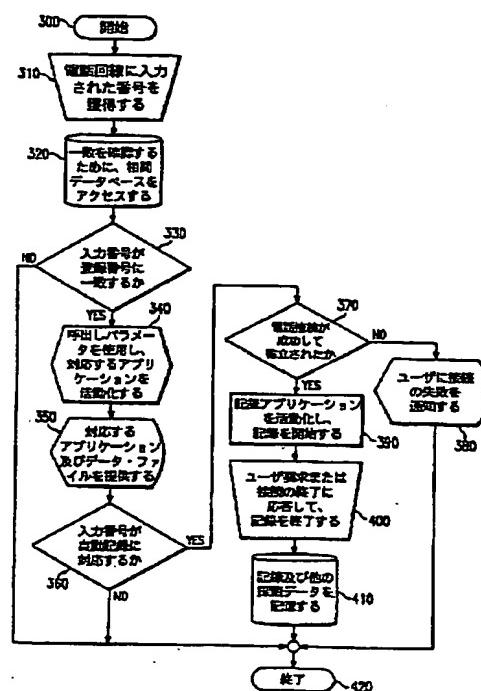
(71) 出願人 390009531
インターナショナル・ビジネス・マシーンズ・コーポレイション
INTERNATIONAL BUSINESS MACHINES CORPORATION
アメリカ合衆国10504、ニューヨーク州
アーモンク(番地なし)
(72) 発明者 マービン・エル・ウイリアムズ
アメリカ合衆国75067、テキサス州ルイスビル、セッターズ・ウェイ 1152
(74) 代理人 弁理士 合田潔(外2名)

(54) 【発明の名称】 自動的にアプリケーションを実行する方法及びデータ処理システム

(57) 【要約】

【目的】 電話回線への番号の入力により自動的にアプリケーションを活動化するデータ処理システムを提供する。

【構成】 本発明は電話回線116への番号入力を獲得し、アプリケーションまたはデータ・ファイルが当該番号に対応付けられているか否かを判断する。そして、アプリケーションまたはデータ・ファイルと入力番号との対応の結果、入力番号に対応するアプリケーションを活動化し、アプリケーションまたはデータ・ファイルをユーザーに提供する。好適には、本発明はデータ処理システム100において、登録番号及び登録番号に対応するアプリケーションのデータベースを維持する。また電話呼出しが登録番号に成功裡に接続されると、電話音声記録アプリケーションが選択的に活動化され、電話通信が記録される。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】データ処理システムにおいてアプリケーションを実行する方法であって、電話回線に入力される番号を獲得するステップと、アプリケーションが上記入力番号に対応付けられているか否かを判断するステップと、アプリケーションと上記入力番号とが対応付けられている場合、該入力番号に対応する該アプリケーションを活動化するステップと、を含む上記方法。

【請求項 2】データ処理システムにおいてアプリケーションを実行する方法であって、電話回線へ入力される番号を獲得するステップと、音声記録アプリケーションが上記入力番号に対応付けられているか否かを判断するステップと、音声記録アプリケーションと上記入力番号とが対応付けられている場合、上記電話回線上の通信を記録するステップと、を含む上記方法。

【請求項 3】上記電話回線への上記番号の入力、及び音声記録アプリケーションが該入力番号に対応付けられているか否かの判断に応答して、電話呼出しが成功裡に接続されたか否かを判断するステップを含む、請求項 2 記載の方法。

【請求項 4】電話回線に入力される番号を獲得する手段と、アプリケーションが、獲得された上記入力番号に対応付けられているか否かを判断する手段と、アプリケーションと上記入力番号とが対応付けられている場合、上記入力番号に対応する該アプリケーションを活動化する手段と、を含むデータ処理システム。

【請求項 5】上記番号とアプリケーションとの対応を維持するデータベースを含む、請求項 4 記載のデータ処理システム。

【請求項 6】活動化された上記アプリケーションを上記データ処理システムのユーザに提供する手段を含む、請求項 4 記載のデータ処理システム。

【請求項 7】上記アプリケーションがデータ・ファイルを含む、請求項 4 記載のデータ処理システム。

【請求項 8】呼出しパラメータが上記アプリケーションに対応付けられている、請求項 4 記載のデータ処理システム。

【請求項 9】電話回線へ入力される番号を獲得する手段と、

音声記録アプリケーションが、獲得された上記入力番号が対応付けられているか否かを判断する手段と、音声記録アプリケーションと上記入力番号とが対応付けられている場合、上記電話回線上の通信を記録する手段と、

を含むデータ処理システム。

【請求項 10】上記電話回線への上記番号の入力、及び音声記録アプリケーションが該入力番号に対応付けられているか否かの判断に応答して、電話呼出しが成功裡に接続されたか否かを判断する手段を含む、請求項 9 記載のデータ処理システム。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】本発明はデータ処理システムに関し、特に電話回線への番号の入力により自動的にアプリケーションを活動化するデータ処理システムに関する。

【0002】

【従来の技術】データ処理システムは電話または電話回線に結合することができる。ユーザと称されるデータ処理システムを操作する人は、例えば、データ処理システム内に保持されるデータベースから名前または電話番号を選択することにより、電話をかけることができる。ユーザの選択に応答して、データ処理システムは、接続された電話回線に所望の電話番号を入力する。データ処理システムはまた、電話番号がデータ処理システム以外から入力される場合に、接続された電話回線上の活動をモニタすることもできる。

【0003】データ処理システムはまた、当該システム内に保持されるアプリケーションまたはデータ・ファイルを活動化したり、提供したりすることもできる。アプリケーション及びデータ・ファイルは視覚的表示装置または可聴伝達路により提供される。データ処理システムはまた、当該システムに接続される電話回線上の通信を記録できる音声記録アプリケーションを含むこともできる。電話を使用する人は、データ処理システム内に保持されるアプリケーションまたはデータ・ファイルを手動で活動化し、或いは電話通信を記録するための音声記録アプリケーションを手動で活動化する。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】登録番号がデータ処理システムを介して、または電話キーパッドから手動で電話回線に入力されると、対応するアプリケーション及びデータ・ファイルが自動的に活動化され提供されるよう、電話回線に入力される番号を登録し、データ処理システム内に保持されるアプリケーションまたはデータ・ファイルを登録番号に対応付けることが望まれる。更に登録番号に対応付けられる電話呼出しが自動的に記録されるように、音声記録アプリケーションを登録番号に対応付けることが望まれる。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明によれば、アプリケーションを電話番号に対応付ける方法及びデータ処理システムが開示される。1実施例では、本発明は電話回線に入力される番号を獲得し(capture)、アプリケーションまたはデータ・ファイルがこの獲得した番号に対

応付けられているか否かを判断する。そして、アプリケーションまたはデータ・ファイルがその獲得番号に対応付けられている場合、その番号に対応するアプリケーションを活動化し、アプリケーションまたはデータ・ファイルをユーザに提供する。好適には、本発明はデータ処理システム内に、登録番号及び当該登録番号に対応するアプリケーションのデータベースを保持する。電話呼出しが登録番号に成功裡に接続されると、電話音声記録アプリケーションを選択的に活動化し、電話通信を記録することもできる。

【0006】

【実施例】図1を参照すると、本発明による装置のプロック図が示される。この装置はデータ処理システム100を含む。データ処理システム100はプロセッサ102を含み、プロセッサ102は中央処理ユニット(CPU)104及びメモリ106を含む。ハード・ディスク・ファイル記憶装置108及びフロッピー・ディスク装置110などの他のメモリも、プロセッサ102に接続されてもよい。フロッピー・ディスク装置110は取り外し可能なディスクケット112に対して読み書きし、ディスクケット112には、データ処理システム100において本発明部分を実行するコンピュータ・プログラム・コードを記録することができる。入力は電話回線116に接続されるファックス／モデム114、及びスキャナ118からも受信される。データ処理システム100は更に、マウス120、キーボード122、及びマイクロフォン124などのユーザ・インターフェース・ハードウェアを含み、これらからユーザ入力がプロセッサ102に入力される。データ処理システム100は、モノクロまたはカラー表示モニタ126、及びモノクロまたはカラー表示プリンタ128などの視覚的表示装置を含み、これらは視覚情報を提供する。データ処理システムは更に、スピーカ130などの音声情報を提供する音声表示装置を含んでもよい。電話132はファックス／モデム114を介して、電話回線116に接続される。

【0007】図2を参照すると、本発明の好適な実施例の方法を表す論理流れ図が示されており、電話回線に入力される番号を登録し、アプリケーション及びデータ・ファイルをその登録番号に対応付ける方法を示す。登録処理と呼ばれる処理がブロック200で開始される。処理はブロック210に移行し、ここでユーザは登録される番号を指定する。登録番号は電話番号でもよいし、または電話回線に入力されるその他の番号でもよい。処理は次にブロック220に移行し、ここでユーザは登録番号に対応付けられる1つまたは複数のアプリケーションを指定する。指定されたアプリケーションは登録アプリケーションと称され、登録番号が電話回線に入力されたことが検出されると、データ処理システムにより活動化され実行される。対応するデータ・ファイルの選択にもとづいて、アプリケーションが活動化されるデータ処理

システムにおいては、アプリケーションはそのアプリケーションに対応するデータ・ファイルを登録することにより登録することができる。好適には、音声記録アプリケーションはブロック220では登録されず、本実施例では、音声記録アプリケーションの活動化はブロック240で別に指定される。

【0008】処理は次にブロック220からブロック230に移行し、ここでユーザはブロック220で登録された任意のアプリケーションに対応する呼出しパラメータを指定する。呼出しパラメータはコマンド・ライン・パラメータ、スタートアップ・パラメータ、アクセスされるデータ・ファイルのファイル名、キーストローク・マクロ、構成コマンド、またはアプリケーションを所望の形式で活動化し実行するための他のコマンドを含む。

【0009】処理は次にブロック240に移行し、ここでユーザは登録番号に設定された電話呼出しが、データ処理システムにより自動的に記録されるべきか否かを指定する。肯定の場合、処理はブロック250に移行し、ここでデータ処理システムの音声記録アプリケーションを登録番号に対応付けるための自動記録フラグがセットされる。処理は次にブロック250からブロック260に移行する。

【0010】ブロック240に戻り、自動記録が指定されない場合、処理は直接ブロック240からブロック260に移行する。ブロック260で、登録番号、及びブロック220からブロック250でそれらと対応付けられる全てのユーザ入力データ（自動記録フラグの状態も含まれる）が、関連データベース（correlationdatabase）に記憶される。登録処理は次にブロック270に移行して終了する。

【0011】図3を参照すると、登録番号の電話回線への入力に際し、アプリケーション及びデータ・ファイルを活動化し提供する処理の好適な実施例の論理流れ図が示される。モニタリング処理と呼ばれる処理がブロック300で開始され、データ処理システムにおいてモニタリング処理が活動状態となる。番号が電話回線に入力されたことを検出すると、処理はブロック310に移行する。番号は、データ処理システム内に保持されるデータベースから名前または電話番号を選択するか、電話ダイアル若しくはキーパッドまたは自動ダイアル機能を使用するか、或いは電話回線に番号を入力するための他の周知の方法を用いることにより入力される。モニタリング処理は電話回線に入力された番号を獲得（capture）する。

【0012】処理はブロック310からブロック320に移行し、関連データベースをアクセスする。処理は次にブロック330に移行し、電話回線に入力された番号が登録番号であるか否かを判断する。否定の場合、処理はブロック420に移行し、終了する。肯定の場合、処理はブロック340に移行する。

【0013】 ブロック340において、処理は相関データベース内の登録番号に対応付けられたアプリケーション及びデータ・ファイルを活動化する。アプリケーションまたはデータ・ファイルは、相関データベース内のそれらに対応する呼出しパラメータを使用して活動化される。処理は次にブロック350に移行し、例えば表示モニタ126、表示プリンタ128、またはスピーカ130により、ユーザに登録アプリケーション及びデータ・ファイルを提供する。データ処理システムが許可すれば、複数のアプリケーションを同時に活動化することも可能である。処理は次にブロック360に移行する。登録番号にアプリケーションまたはデータ・ファイルが対応付けられていない場合には、処理はアプリケーションまたはデータ・ファイルをアクセスまたは提供することなく、ブロック360に移行する。

【0014】 ブロック360では、処理は自動記録フラグが登録番号に対応してセットされているか否かを判断する。否定の場合、処理はブロック420に移行して終了する。

【0015】 ブロック370では、処理は登録番号に設定される電話呼出しが成功裡に接続されたか否かを判断する。好適にはこの判断は、呼出しが記録されるとその処理が判断した後に実行される。しかしながら、電話呼出しが成功裡に接続されなければ、アプリケーションまたはデータ・ファイルの活動化が要求されない場合に、対応するアプリケーションまたはデータ・ファイルを活動化する前に、この決定を下しても良い。ブロック370が否定の場合、処理はブロック380に移行し、ユーザに呼出しが接続されなかったことを通知し、次にブロック420に移行して終了する。ブロック370が肯定の場合、処理はブロック390に移行し、電話通信の記録を開始する。

【0016】 好適には、データ処理システムの音声記録アプリケーションは、電話通信をデジタル化し、それを当該データ処理システム内に記録する。しかしながら、データ処理システムは、当該システムにより制御できるものであれば任意の音声記録アプリケーションまたは機構を使用することができる。

【0017】 処理は次にブロック400に移行し、ユーザ終了要求の受信または電話接続の終了の検出により、記録を終了する。処理は次にブロック410に移行し、記録を記憶し、次にブロック420に移行して終了す

る。

【0018】 以下簡単にまとめると、ユーザは図2に示される登録処理により番号を登録し、アプリケーションまたはデータ・ファイルを登録番号に対応付ける。呼出しパラメータもまた指定される。呼出しパラメータは、ユーザが登録番号に設定される電話呼出しの記録を指定することを可能とする。

【0019】 図3に示されるモニタリング処理は、電話及び電話回線活動をモニタする。番号が電話回線に入力されると、モニタリング処理がその番号を獲得し、番号が登録されているか否かを判断する。登録されている場合、処理は呼出しパラメータを使用することにより、登録番号に対応するアプリケーション及びデータ・ファイルを活動化し提供する。処理はまた、この番号の呼出しが記録されるか否か、及び接続が成功して完了したか否かを判断し、呼出しを記録するために音声記録アプリケーションを活動化する。

【0020】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明によれば電話回線への番号の入力により自動的にアプリケーションを活動化するデータ処理システムが提供される。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の実施例の方法を達成し、本発明の実施例の装置の一部を形成するために使用される装置のブロック図である。

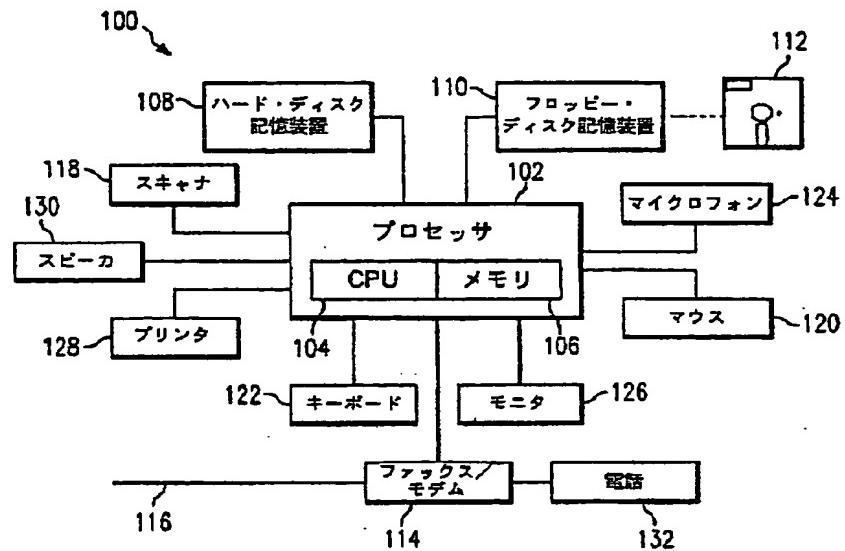
【図2】 電話回線に入力される番号を登録し、アプリケーション及びデータ・ファイルを登録番号に対応付けるための本発明の実施例の流れ図である。

【図3】 電話回線への登録番号の入力に際し、アプリケーションを活動化し、アプリケーション及びデータ・ファイルを提供する本発明の実施例の流れ図である。

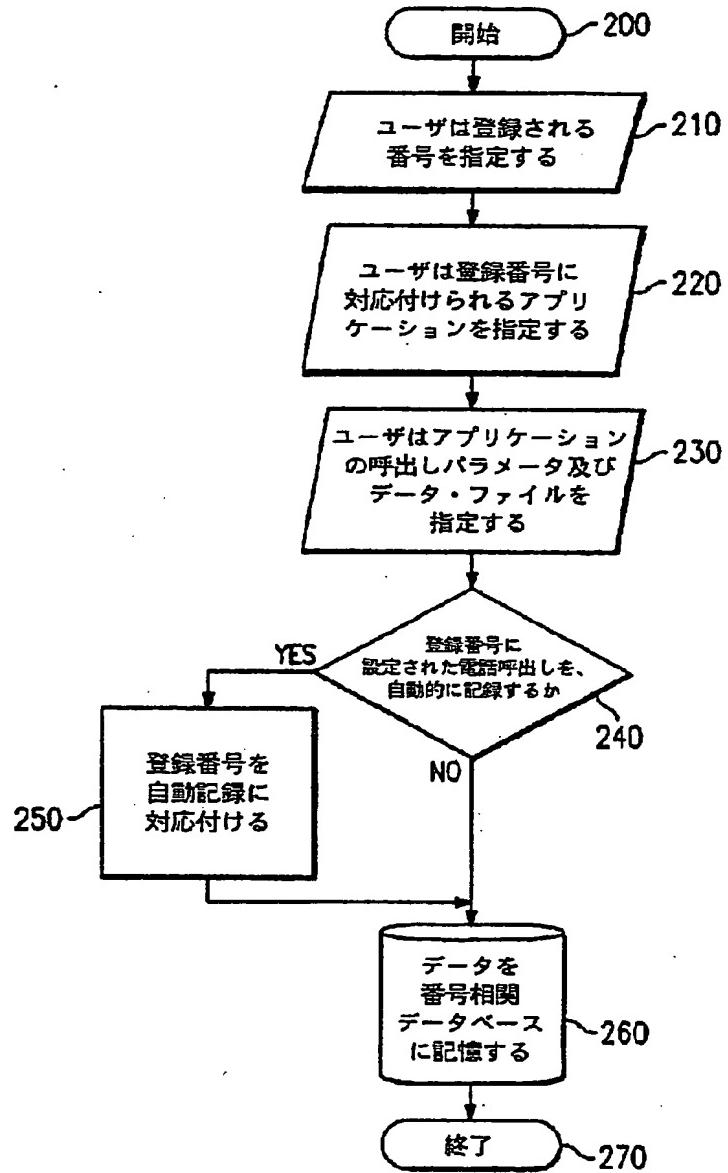
【符号の説明】

- 100 データ処理システム
- 102 プロセッサ
- 104 中央処理ユニット(CPU)
- 108 ハード・ディスク・ファイル記憶装置
- 110 フロッピー・ディスク装置
- 114 ファックス/モ뎀
- 116 電話回線
- 126 モノクロまたはカラー表示モニタ
- 128 モノクロまたはカラー表示プリンタ
- 132 電話

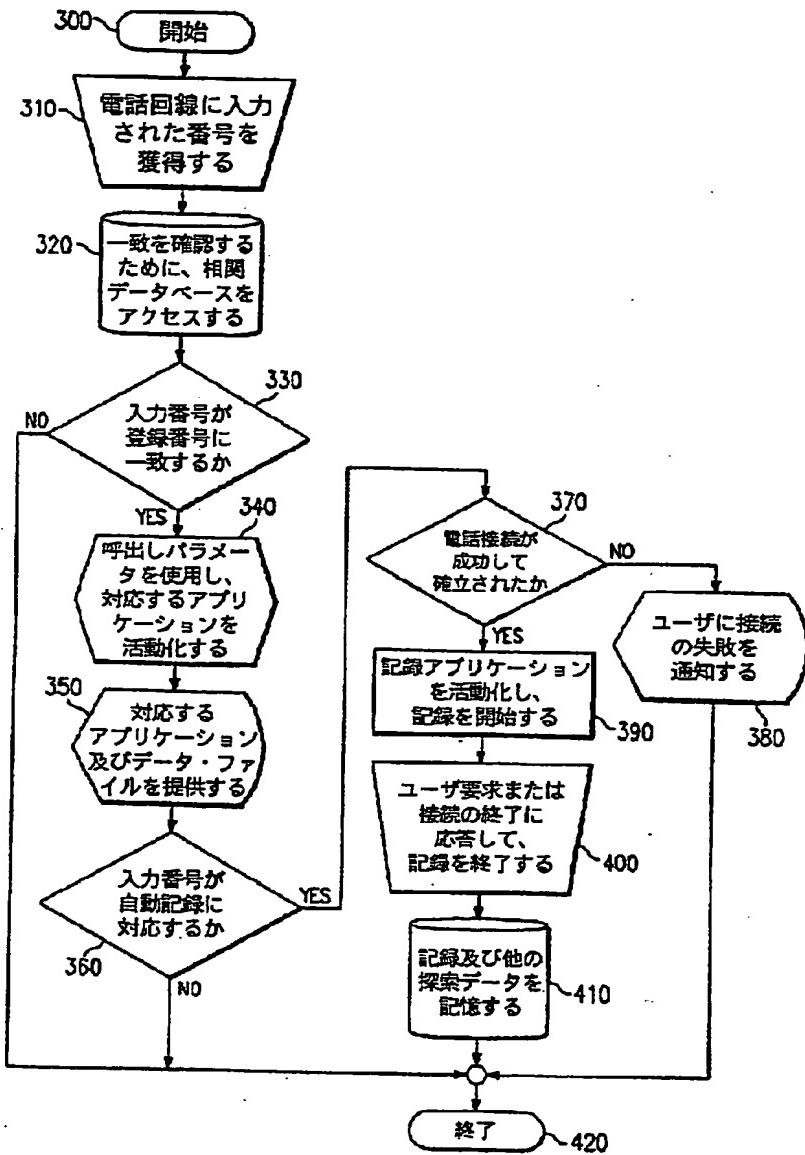
【図1】



【図2】



【図3】



**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- BLACK BORDERS**
- IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- FADED TEXT OR DRAWING**
- BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- SKEWED/SLANTED IMAGES**
- COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- GRAY SCALE DOCUMENTS**
- LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.